

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	旭美容専門学校
設置者名	学校法人長谷川学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	52 単位 1560 時	6 単位 160 時間	
	トータルエステティック科	夜・通信	895 時間	80 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務所に備え付け希望者は閲覧することができる
------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	旭美容専門学校
設置者名	学校法人長谷川学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所に備え付け希望者は閲覧することができる

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	美容サロンオーナー	令和4年7月 ～令和8年7月	業界との繋がり 学校経営への助言
非常勤	大学教授・英語学博士	令和4年7月 ～令和8年7月	学識経験者であり 世界の美容学会との造詣が深い
非常勤	美容組合講師会幹事	令和4年7月 ～令和8年7月	業界との繋がり 学校経営への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	旭美容専門学校
設置者名	学校法人長谷川学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>担当教師(講師)が、授業の方法(講義・演出・実験・実習の別)・授業の内容(授業科目の概要)・年間の授業計画(授業の回数やスケジュール)・到達目標・成績評価の方法・基準などを記載した授業計画(シラバス)を1月までに作成する。実務経験のある教員などによる授業科目についてはその旨記載する。また、授業時間外に必要な学習の内容や再試験・補習授業の対象となる基準など、授業の実施に関する事項については、授業計画書(シラバス)に記載し、あらかじめ学生に対して周知することが望ましい。作成者に当たっては、成績分布や学生の授業評価、学校自己点検評価委員会の意見を計画改善に反映させなければならない。シラバスは4月から公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	事務所に備え付け希望者は閲覧することができる
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

美容科においては学年ごとに定期試験を行い、100点換算で60点以上(美容実習は70点以上)、トータルエステティック科においては70点以上を合格とし、修了認定する。ただし実習を伴う教科科目に関しては、実習の成績によって修了認定することが出来る。

各教科科目の単位認定に必要な出席率は90%以上としそれに満たない時は補習等で補うことが出来る。ただし、定められた補習等に参加しない者にはその単位を認めない。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

定期試験の成績評価について、得点を基準として判定する。さらに得点に応じてGP (Great Point) を設ける。

(100~90点を4、89~80点を3、79~70点を2、69~60点を1、59点以下を0、としたもの)

算出されたGPAを学期ごとに比較することで学修した成果を判断する目安としている。GPA = (履修科目GP × 履修科目の単位数) の総和 / 履修科目の単位数の総和

その結果より、学期毎に数値における成績分布及び下位1/4に該当する人数、下位1/4に該当する学生を把握、指導する。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

事務所に備え付け希望者は閲覧することができる

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

旭美容専門学校履修認定規定に卒業認定を定めるとともに、卒業見込み者を対象に卒業判定会議を行い、履修状況を確認した上で卒業判定する。美容科においては学年ごとに定期試験を行い、100点換算で60点以上(美容実習は70点以上)、トータルエステティック科においては70点以上を合格とし、修了認定する。ただし実習を伴う教科科目に関しては、実習の成績によって修了を認定することが出来る。各教科科目の単位認定に必要な出席率は90%以上とし、それに満たない時は補習等で補うことが出来る。ただし、定められた補習等に参加しない者にはその単位を認めない。卒業に必要な単位が修得できないと判定された学生に関し、学校長は認定会議の決定を受け、職員会議に諮り原級に留置くものとする。ただし、学則に定める修業年限の2倍を超えて在籍することは出来ない。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

事務所に備え付け希望者は閲覧することができる

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	旭美容専門学校
設置者名	学校法人長谷川学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所に備え付け希望者は閲覧することができる
収支計算書又は損益計算書	事務所に備え付け希望者は閲覧することができる
財産目録	事務所に備え付け希望者は閲覧することができる
事業報告書	事務所に備え付け希望者は閲覧することができる
監事による監査報告（書）	事務所に備え付け希望者は閲覧することができる

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010時間/67単位	510時間 /17単位	180時間 /6単位	900時間 /30単位		420時間 /14単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		133人	0人	12人	18人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科目ごとに指導要録、指導計画表を作成し実施しています。
成績評価の基準・方法
（概要） 学年ごとに定期試験を行い、100点法において60点以上（美容実習は70点以上）を合格とし修了認定する。ただし、実習を伴う教科科目に関しては、実習の成績によって修了を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業見込み者、進級見込み者を対象に卒業、進級判定会議を行い、履修状況を確認したうえで、卒業、進級判定する。
学修支援等
（概要） 不合格者に対しては、追再試験を行う。単位認定に必要な出席率に満たないときは、補習で補うことができる。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56人 (100%)	0人 (%)	54人 (96.4%)	2人 (3.6%)
（主な就職、業界等） 美容業			
（就職指導内容） 面接指導、就職ガイダンス			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格、認定エステティシャン			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
133人	8人	6.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更、健康面・精神的不調、学力不足、出席が常でない。		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラー（月2回）、複数担任制の導入、教職員間の情報共有。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	衛生専門課程	トータルエステティック科	×	×			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	910時間 単位時間/単位	280単位 時間/単位	460単位 時間/単位	170単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
16人	13人	0人	1人	7人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>担当教師（講師）が、授業の方法（講義・演習・実験・実習の別）、授業の内容（授業科目の概要）、年間の授業の計画（授業の回数やスケジュール）、到達目標、成績評価の方法、基準などを記載した授業計画（シラバス）を1月までに作成する。作成にあたっては、成績分布や学生の授業評価、学校自己点検評価委員会・教育課程編成委員会の意見を反映させなければならない。シラバスは4月に公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>定期試験を行い、100点換算で70点以上を合格とし、修了認定する。ただし実習を伴う教科科目に関しては、実習の成績によって修了を認定することが出来る。各教科科目の単位認定に必要な出席率は90%以上とし、それに満たない時は補習等で補うことが出来る。ただし、定められた補習等に参加しない者にはその単位を認めない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>旭美容専門学校履修認定規定に卒業認定を定めるとともに、卒業見込み者を対象に卒業判定会議を行い、履修状況を確認した上で卒業判定する。各教科科目の単位認定に必要な出席率は90%以上とし、それに満たない時は補習等で補うことが出来る。ただし、定められた補習等に参加しない者にはその単位を認めない。</p> <p>卒業に必要な単位が修得できないと判定された学生に関し、学校長は認定会議の決定を受け、職員会議に諮り原級に留置くものとする。ただし、学則に定める修業年限の2倍を超えて在籍することは出来ない。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生相談室を設置。就職面、生活面を含め幅広い支援。追再試験、補習の実施など学習支援。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (%)	11人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 美容業界 エステサロン・ネイルサロン			

(就職指導内容) 履歴書作成、面談練習、個別指導、企業説明会、サロン見学を実施している
(主な学修成果(資格・検定等)) 認定エステシヤン 100% ネイリスト技能検定 2級 60%、3級 100% ジェルネイル検定初級 100%、中級 100% 日本化粧品検定 1級 100%、2級 100%など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
(中途退学の主な理由) 精神的な事情		
中退防止・中退者支援のための取組 カウンセラーを配置し必要な学生にカウンセリングや面談など受けられるようにしている		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
美容科	200,000円	456,000円	580,400円	給食費含む
トータルエステティック科	200,000円	456,000円	515,800円	給食費含む
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
長谷川学園奨学金・遠隔地模範学生奨学金				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.abic.ac.jp/">http://www.abic.ac.jp/</a> 当校について 情報公開
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者評価委員会を設け、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学習成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令遵守、社会・学校地域貢献、国際交流について、学校自己点検評価及び学生アンケートの結果を踏まえた学校評価を行い評価内容は公表する。専門分野における業界関係者、本校卒業生または保護者、地域住民、高等学校等の校長・進路指導担当者、関係業界の団体役員、関連企業の役員から少なくとも3名以上とし校長が委嘱する。

評価結果については校長が責任者となり、教職員に共有の上、翌年度の運営改善につなげていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社杉新衣裳店 代表取締役社長	令和6年4月～ 令和8年3月	ブライダル・美容業界 取引先
サロン協力会顧問 美容室アンプー	令和6年4月～ 令和8年3月	サロン協力会前代表 幹事
有限会社山端鋏製作所 代表取締役	令和6年4月～ 令和8年3月	美容器具製造業者 卒業生の保護者
美容室ウェーブ	令和6年4月～ 令和8年3月	サロン協力会前幹事 美容業界 卒業生の保護者
ヘア&メイク KOTOBUKI	令和6年4月～ 令和8年3月	美容業界 卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.abic.ac.jp/">http://www.abic.ac.jp/</a> 当校について 情報公開		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.abic.ac.jp/">http://www.abic.ac.jp/</a>
--